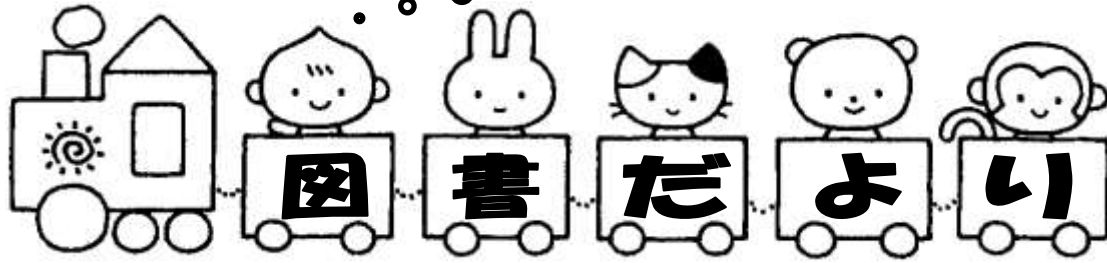


さじょさじょ



おかやましりつごしょうしょうがっこうとしょかん 令和5年度11月号 (No. 7)

11/13(月)~11/20(月)メディアコントロール週間

あじかん 空いた時間におうち読書を楽しもう！！

ゲームや動画を見る時間をうまくコントロールして、空いた時間に読書を楽しみましょう。上手に時間を作って『いつもより、すこし多く』読書ができるといいですね。そこで読書チャレンジカードを用意しました。読んだ分だけ色をぬって、色あざやかなもみじにしましょう。



いろかた 色のぬり方
本を半分読んだ→もみじを3まいぬる
本を1さつ読んだ→もみじを5まいぬる

ぜんぶぬれたら、
図書館で2枚目を
もらいましょう。

よ読んでみられえ〜「岡山」の本

ごしょうしょうがっこう おかやま ほん しょうかい 五城小学校にある『岡山』にちなんだ本を紹介しします。おうちの人と一緒に読むのもいいですね。

岡山県出身の作家

★重松清さん

『小学五年生』『くちぶえ番長』

★あさのあつこさん

『バッテリー』『いえででんしゃはこしょうちゅう？』

『ラストニング』

★小出鞠るいさん

『午前3時に電話して』『心の森』

岡山市の奉還町商店街をモデルにしたおはなし

『奉還町ラブソディ』村中李衣

山口から岡山に引っ越してきたぼくは、奉還町商店街のまんじゅう屋の息子、あつしと仲良くなった。奉還町は、大政奉還で配られた奉還金をもとに、武士が商売を始めたという歴史のある町だ。そこには、毎日店の前につたっている「レディースファッションベにや」のおっちゃんや、店であつかうすべての種を育てて、記録をつけている「たねやのノダ」のおばあちゃん、若いころミュージシャンを夢見ていた「沖原整骨院」のじいちゃん先生など、個性的な人だらけで……。

岡山市の文学賞『坪田譲治文学賞』を受賞したおはなし

『ぼくんちのねこのはなし』

ぼくんちの猫・ことらは、16歳。ぼくが生まれる前からうちの家族だった。そんなことらは、最近様子がおかしいんだ。好物の焼きのりも、ドライフードも食べなくなって……。お母さんとことらを病院につれていったら、先生は「治らない病気です」って言うんだ。ほんとうに、ことらはいつか死んじゃうのかな。そんな日、ずっと来なければいいのに。

岡山の歴史

★桃太郎伝説の生まれたまち おかやまのひみつ

★まんが岡山城ものがたり

